

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1272800226		
法人名	株式会社 エクセルシオール・ジャパン		
事業所名	グループホーム いきいきの家鴨川		
所在地	千葉県鴨川市古畑317-1		
自己評価作成日	平成29年3月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成29年3月31日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所の理念「いつまでも『自分らしく』いられる生活」を達成するため以下4点を力を入れています。

- 個別ケアの確立
私たちは「その人らしさを大切」を合言葉に入居者様のご希望に添った生活を支援します。
- 心の通う介護
私たちは、入居者様が「安心して生活ができる」ように笑顔と真心で接します。
- 地域社会と連携
地域の方々と交流の機会を持ち「地域から愛される存在」になります。
- 向上心とチームワーク
介護のプロとして常に向上心を持ち、知識と技術習得に努めます。また「共に支えあう心」を忘れずにチームワークを大切にします。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

田園に囲まれた自然環境の中に「グループホームいきいきの家鴨川」はある。ウッドデッキから庭や畑への出入りが可能となり、外の風や季節を身近に感じる事ができると共に、野菜等の栽培や収穫の楽しみも増す等、日常生活の活性化に繋がっている。浴室にはリフトが設置されており、身体状況に応じた支援が可能となっている。近隣に消防署があり、相談や助言を得ていると共に、火災や地震等の災害時・緊急時の救急要請等に協力体制が整備されている。法人内では「ホットライン制度」が導入されており、直接法人へ意見が言える仕組み作りがなされている

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を各職員のネームプレート裏に携帯し、常に見られるようにしているほか、施設内にも掲示し定時会議などで判断に迷った際は常に運営理念に基づいているかを考慮している。また、今年から新たに「いつまでも自分らしくいられる生活」という当法人グループの理念も加え、ケアの基本としている。	「いつまでも『自分らしく』いられる生活」を施設理念に掲げており、事業所内に掲示すると共に、入職時や会議等で随時理念の確認・周知を図っている。また、各職員が理念を明記したネームホルダーを携帯し、常に理念を意識したサービス提供に努めている。他にも、入職時に理念が明記された手帳を配布する等、理念の共有に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏季の祭りなど地域の行事に積極的に参加している。大規模な避難訓練などには地域の消防隊や住民の方々にもご協力をいただいている。	近隣住民の来訪や地域ボランティアを受け入れると共に、夏祭り等の地域行事への参加を積極的に行い、地域交流・施設理解促進に努めている。読み聞かせボランティアの来訪時に、障害者作業所の人達を招待する等、地域貢献にも取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の専門家として、ご家族はもちろん地域住民の方々のご相談にも対応している。ご依頼があった際には他施設への紹介も行っている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者ご家族や市職員・訪問看護師、近隣住民の方々にも参加していただき意見交換や感染症の予防対策などの情報共有を行っている。	入居者・家族等を構成員として、運営推進会議を行っている。会議では施設の現況報告や活動報告等を行い、施設理解の促進を図っている。	開催回数の増加を検討し、施設運営の透明性の確保及び外部からの意見・提案の機会を増やす等、よりサービスの質の向上につながるよう取り組んでいただく事を推奨します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	上記運営推進会議の参加に加え、法令等について疑問点があれば市担当者に意見を聞いている。また、施設の空き状況なども伝え入居者様の紹介などもしていただいている。	市に対しては、日常業務全般の報告・連絡・相談を行うと共に、市役所にパンフレットを置かせてもらい、市と共同でPRを行なう等、市との協力体制が構築されている。また、市主催の研修へは積極的に参加しており、サービスの質の向上を図っている。	

【千葉県】グループホーム いきいきの家鴨川

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当施設では身体拘束をしないことを職員と共有している。研修への参加も積極的に行動し、施設内でも適宜勉強会を実施している。	身体拘束排除及び虐待防止における研修に参加していると共に、マニュアルの整備や研修内容を職員へ周知し、意義の理解促進に努めている。玄関やウッドデッキにおいては、日中は施錠せず、安全面・自由な生活に配慮した適切な支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は絶対に行わないことを職員に周知徹底するとともに、法人内で行われる研修に参加している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は成年後見制度の研修に参加し、活用を希望する方及び必要と思われる方にかんして迅速に対応できるよう準備している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書にてご家族へ説明の上、ご了解の際には署名をいただいている。契約時は十分に時間をかけ、ご家族に不安や不満が残らぬよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に苦情相談窓口・担当者の説明をさせていただいている。ご家族の面会時にもご意見に耳を傾けるよう心掛けている。なお、いただいたご意見は担当者会議で取り上げ話し合っている。	面会時や訪問時に家族の意見・要望等を確認すると共に、運営推進会議を通じて、意見・要望等を引き出している。定期的に日々の様子を文書にて家族に報告する等、コミュニケーションを取り易い雰囲気作りに努めている。挙げた意見・要望については、会議や連絡ノートにて、周知・検討し、サービスに質の確保・向上に反映させている。	

【千葉県】グループホーム いきいきの家鴨川

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ケアカンファレンス等にて職員が発言する場を設けている。また担当者会議の場でも職務上の問題点などを話し合っている。	会議や連絡ノートを活用し、職員の意見・提案等を確認する機会を設けている。また、資格取得支援や助成金制度等、人材育成や就業環境の整備にも取り組んでいる。法人グループ内で「ホットライン制度」が導入されており、法人幹部へ直接意見が言える仕組みが整備されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談で職務への希望や不満などを聞き、出来る限り対応をしている。法人の方針として、残業ゼロを掲げ目指している。資格手当の支給や資格試験への援助なども行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員には外部研修の参加や法人主催の研修会に積極的に参加してもらうよう心掛けている。また研修で得たことは会議で発表してもらい各自のスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月に一度近隣のグループホームの会議に出席し、意見交換を行っている。法人主催の会議にも参加し困難な課題などで他事業所の意見をいただく等している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご本人を含めたご家族の施設見学に対応するとともに、ご希望がある場合には体験入居にも対応している。入居前にはご本人と面談を行いご意見・ご要望を伺っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の面談や契約時に時間をかけてご家族のご意見・ご要望をお聞きしている。ご家族からお電話があった際にはすぐに管理者が対応できるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前のご本人やご家族との面談を通し、状況把握に努め、場合によっては他施設へのご紹介も行っている。		

【千葉県】グループホーム いきいきの家鴨川

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はもちろん他の入居者様とも垣根のない関係を築き、ご本人が孤立をしないよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との外出・外泊・一時帰宅等のご要望には出来る限り対応している。面会もいつでもご自由にお越しいただいている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人のご近所の方々の面会も受け入れており、また外出の際にはご本人のご自宅を訪れるなどしている。	地域の商店への買物や地域行事への参加等を通じて、馴染みの場所への外出を支援している。また、友人・家族との外出等も自由に行えるよう支援しており、馴染みの人との関係継続に配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しがちな入居者様には職員が間に入って他の入居者様とお話できるようサポートさせていただく。レクリエーションでも大勢が参加し楽しめるようなものを多く取り入れている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後(ご退去後)も、困ったときはいつでもご連絡いただけるようお願いしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各入居者様のご意見や状況などはノートに記載し常に全職員が把握するよう努めている。困難な場合は、運営理念に立ち返りご本人にとって何が一番大事かを常に考えている。	契約時に、本人・家族から意向・生活歴・身体状況等を確認している。必要に応じて医師の意見書や他の介護サービス事業所から情報提供を受ける等、より詳しい情報の把握に努めている。家族との話し合い・日々のコミュニケーション等から、本人・家族の意向の把握に努めている。確認した情報は、連絡ノートや会議を通じて、全職員への周知を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の面談や契約の際にご本人やご家族にお聞きするとともに、入居後もご本人とお話し、生活状況などの把握に努めている。		

【千葉県】グループホーム いきいきの家鴨川

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居されてしばらくの間は細かにご本人の状態をノートに記録している。その後も変化の際は常に記録し全職員が把握するようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族のご意見・ご要望、また実際に介護に携わる職員の意見や医師の判断等を取り入れながら介護計画を作成している。	職員間で会議を開催し、意見・情報交換を行い、介護計画の作成を行っている。定期的に介護計画の評価を実施し、必要に応じて介護計画の見直しを行っている。日々の記録や連絡ノートを活用し、現状を判断しながら意向やニーズに即した介護計画の作成・支援の実施に努めている。	担当者会議において、家族・本人が出席し、意向を確認するもしくは、意見の照会を行い、記録する事により、より本人・家族の意向を反映させた適正な介護計画の作成に繋げていただく事を期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のご様子は業務日誌に、個別の記録は介護記録に記載し月に1回の担当者会議ではケアの方法などを共有している。ケア方法の見直しを検討した場合は介護計画に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族のご要望には出来る限り対応できるよう心掛けている。 実現困難なご要望でも他施設との連携を図りながら実現に向けて努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティア等を活用し、レクリエーションなどに役立てている。また入居者様や職員の家族などでも外出時やレクの際に協力していただける方にはお願いしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族のご希望の病院に受診できるよう協力している。職員が受診対応した場合は結果をご家族に報告している。	内科医の往診・かかりつけ医への受診等を実施していると共に、定期的に訪問看護を実施し、適切な医療受診・健康管理を支援している。協力病院とは、随時連絡が可能となっており、必要時には、相談や家族への説明等も行われ、密な連携が図られている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週金曜日に訪問看護師に来てもらい業務日誌や介護記録に書かれた入居者様の状況を伝えている。		

【千葉県】グループホーム いきいきの家鴨川

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様の入院時には毎日お見舞いに伺い、状況を確認するとともに医師や看護師と情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に必ず終末期のご家族の要望をお聞きするとともに、ご本人の状態が大きく変化した際には医師や看護師も交えながら施設で出来ること・出来ないことの説明をしている。	重度化・終末期における施設方針を明文化し、家族へ説明の上、同意を得ている。重度化した場合には、医師・家族・職員で話し合いを行いながら、必要に応じて、医療機関や他の施設・サービス事業所への切り替えも含め、本人・家族の意向に沿った支援が行えるよう協力体制の構築を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に急変時等の対応方法の勉強会を開いている。また地域の消防の方に協力いただき心肺蘇生やAEDの操作についての講習をしていただいている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、地震時・火災時・夜間災害時などの避難訓練を実施している。訓練の報告書を作成し問題点を職員全員が把握するよう努めている。	スプリンクラー・火災報知機・自動通報機等の消防設備を設置すると共に、年2回の避難訓練を実施している。訓練では、夜間想定訓練・消防署立ち会い訓練・消火器訓練等を実施し、災害時の対応方法を確認している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	会社の方針として接遇重視を掲げており、入居者様に対応する際の表情や言葉遣いなどに配慮している。全室個室のため、居室にお邪魔する際にはノックをするなどプライバシーの保持に努めている。	プライバシー保護・接遇・倫理等を明記した職員ハンドブックを全職員に配布していると共に、定期的または随時、研修や指導を行い、入居者の尊厳に配慮した支援を徹底している。また、各居室に鍵や収納スペースがあり、プライバシー保護に配慮した造りとなっている。	

【千葉県】グループホーム いきいきの家鴨川

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	面談時にご本人やご家族にお聞きするとともに日々のコミュニケーションを欠かさず、ご本人の趣味や嗜好などの把握に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事などおおまかな時間設定はあるがご本人が息苦しさを感ぜないよう一人ひとりに合わせて自由に過ごしていただくことを常に考え支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2月に1回、訪問理容を導入しているが、ご本人の希望でお好きな美容院を利用できるよう対応している。また衣類を購入する際は出来るだけご本人に同行していただき、好みをお聞きしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなど、入居者様にも出来る限りご協力いただいている。入居者様の状況に合わせて、食事形態やメニューなどを工夫している。	入居者の希望・能力に応じて、調理・盛り付け・後片付けを共同で行っている。献立は、入居者の希望を取り入れながら職員が行っている。また、施設内の菜園で収穫された野菜を活用する等、楽しい食卓作りに努めている。定期的に外食会・行事食の提供等、食に対する楽しみを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後、食事記録に食事量や水分量を記載している。またご入居者様のご意見も伺いながら、食べづらいものや味の好みなどを把握し献立に反映させている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施し口腔内に汚れや食べ残しが無いよう注意している。義歯は基本的に夜間はお預かりし義歯洗浄液に浸し、口腔内の清潔を保っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人の状況やご要望に合わせてトイレへの定時誘導や声かけで対応している。排泄は全て記録し、排泄パターンを把握するとともに無駄なオムツを使用していないかなど担当者会議で話し合っている。	排泄チェックリストを活用しながら、一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、適切な声掛けや身体機能に応じた対応を心掛け、排泄の自立にむけた支援を行っている。夜間においては、ポータブルトイレの使用やトイレ誘導を行い、一人ひとりに合わせた柔軟な支援に努めている。日頃から、水分・食事・運動等を工夫すると共に、必要時には、医師・看護師と相談しながら適切な排便コントロールを行っている。	

【千葉県】グループホーム いきいきの家鴨川

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方には食事や水分摂取を見直すとともに下剤での調整や適度な運動、腹部を暖めてマッサージをするなど定期的な排便につながるよう、工夫している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日を記録しご本人の希望に沿いながら最低週2回は入浴していただけるよう声かけしている。基本的に入浴は同姓対応を心掛けている。	入浴においては、希望や体調に合わせて、適切な入浴機会を確保していると共に、シャワー浴・部分浴・清拭等を実施し、入居者の清潔保持に努めている。また、片方のユニットにリフト浴槽が設置されており、入居者の身体状況に合わせた入浴支援も可能となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠につながるよう、室温やベッドの高さ・位置・布団の厚さや枚数が適切になるよう気をつけている。また、ご本人のご希望や状況によりベッドではなく、布団で休んでいただく事にも対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎食ごとに服薬専用のファイルを作成し、個人別に処方箋を入れて服薬内容を把握している。服薬は必ず2名以上で対応し、入居者様の取り違えによる事故防止に努めている。服薬内容が変更された場合はノートに記載し、症状の変化を把握するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の生活歴を把握し、それを生かせるような役割やレクリエーションを見つけるよう支援を行っている。行事は季節を感じていただけるようなものを企画している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人のご希望や状況に合わせながら天気の良い日には出来るだけ外出の機会を作るようにしている。遠方への外出の際はご家族もお誘いし、一緒に外出を楽しめるように支援している。	日頃から散歩等を行い、戸外に出る機会を設けている。また、定期的に外出会・外食会・行事等を企画・実践しており、戸外での様々な楽しみを支援している。行事には、ボランティアや家族の参加を促し、多くの人と楽しみを共有出来るよう工夫している。	

【千葉県】グループホーム いきいきの家鴨川

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持しご自分で管理できる方には金銭管理をお願いしている。買い物の際にはご自分で品物をお選びいただき購入していただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望により手紙や電話など自由に出来るよう支援している。手紙はポストに投函するまでご同行いただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分にデッドスペースがあったため、大規模リフォームを実施。皆様にとってより快適な空間になるよう、室温設定や明るさなどにも配慮している。	共有スペースには、椅子・ソファ等が設置されており、入居者がくつろげる環境作りがなされている。窓からの景色は採光も良く、豊かな自然が展望でき、入居者の気分転換にも繋がっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の際のお席は大体決まっているが、それ以外の時間は入居者様にお好きな場所で過ごしていただいている。(ソファやテレビの前、天気の良い日は屋外のデッキなど。)		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的にご家庭で使用されていたものをそのままお持ちになり、ご使用いただいている。居室で過ごされている際には室温や部屋の明るさなどに注意し、快適に過ごしていただけるよう心掛けている。	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの家具や写真等、自由に持ち込む事が可能となっており、居心地の良く生活ができるよう配慮されている。また、生活歴に応じて、畳や布団等の寝具の選択が可能となっており、生活歴に合わせた居室作りもなされている。全居室にエアコンが設置され、適切な空調管理もなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全面バリアフリーとなっており、居室にはご本人・ご家族の許可をいただきお名前のプレートを掲示させていただいている。無駄なものを置かずに入居者様が車椅子でも自由に動いていただけるよう心掛けている。		